

平成30年10月19日

30年度第2回施設見学会の報告

(…生命を育む明治用水…)

広報担当 原

10月19日(金)10時より、安城市 明治用水会館と水のかんきょう学習館に於いて 当会より28人が参加し、明治用水に就いての解説を主にプロジェクターを使用し行われました。明治用水は8市4町へ農業用、工業用の水を供給しています。明治用水と言う由来は、幕末明治維新时期に測量、開削が行われた為、元号の「明治」で命名されました。

大正時代には、農業王国として安城市が日本のデンマークの呼び名が付くほどになり、教科書にも載るようになりました。

地域の生命の源である矢作川に於いても、幾多の水質汚染等の苦難を乗り越え現在に到っております。「流域はひとつ運命共同体」を合言葉に、最上流の子供たちを潮干狩りに招いたり、三河湾で捕れた新鮮なイワシを上流山村に直送して朝市を行ったりと上下流の住民の交流も盛んに行われています。

かつて親しんだ水路は、パイプライン化によって地下へと潜り目には見えなくなりましたが、水の恩恵への感謝の気持ちは忘れてはなりません。

終了が予定より延長となりましたが、有難う御座いました。お疲れ様でした。

